

脳・神経系リハビリテーション

疾患ごとに最適なリハの手技と根拠がわかる

第2版

contents

● 第2版の序	潮見泰藏	3
● 初版の序	潮見泰藏	5
● 略語一覧		8

総 論

1. リハビリテーションの対象となる脳・神経疾患の捉え方	潮見泰藏	14
2. 脳・神経疾患の診かた	高見彰淑	23
3. 障害モデルと共に通する障害評価	臼田 滋	41
4. 効果判定とアウトカム	臼田 滋	47

第1章 脳疾患

1A. 脳卒中（急性期）	高見彰淑	50
1B. 脳卒中（回復期）	佐藤房郎	72
1C. 脳卒中（生活期）	吉田 剛	98
2. くも膜下出血	高見彰淑	111
3. 多発性脳梗塞	高見彰淑	117
4. 頭部外傷	佐藤房郎	123
5. 脳腫瘍	佐藤房郎	139
6. 嘔下障害	吉田 剛	156
7. 肩手症候群	吉田 剛	173
8. 高次脳機能障害	高杉 潤	181
9. 認知症	吉田 剛	207

第2章 神経筋疾患

1. パーキンソン病	橋立博幸	219
2. 脊髄小脳変性症	望月 久, 板東杏太	238
3. 筋萎縮性側索硬化症	望月 久, 寄本恵輔	253

4. 多発性硬化症	望月 久, 近藤夕騎	267
5. 進行性筋ジストロフィー症	間瀬教史	279
6. 多発性筋炎・皮膚筋炎	間瀬教史	288
7. 重症筋無力症	間瀬教史	296
8. 多発神経炎	橋立博幸	305

第3章 小児神経疾患

1. 脳性麻痺	芝原美由紀, 竹本 聰	315
2. ダウン症候群	芝原美由紀, 竹本 聰	339
3. 先天性筋ジストロフィー症	芝原美由紀, 竹本 聰	344

第4章 脊髄疾患

1. 脊椎・脊髄疾患	石井博之	350
2. 脊髄・頸髄損傷	石井博之	361

第5章 末梢神経

1. 末梢神経損傷	伊藤義広	375
2. 顔面神経麻痺	立花慶太	394

● 付 錄	406
● 索 引	411

本書の構成

本書では疾患ごとに、『**A知識の整理**』『**Bリハビリテーションプログラム**』の2部構成で解説しています。

A知識の整理

各疾患の病態や画像所見、治療法などを理解する。

Bリハビリテーションプログラム

臨床経過や病態に応じたプログラムの流れ、リハの手技などを理解する。